

2014年3月期第2四半期 決算説明会

2013年11月12日(火)

船井電機株式会社

証券コード 6839

I. 社長挨拶

1. 上期(4-9月)の概要
2. 下期(10-3月)の事業環境見通し
3. 下期および通期の計画
4. 成長戦略
 - 4-1. 成長戦略①
 - 4-2. 成長戦略②生産拠点の再編
 - 4-3. 成長戦略③事業取得・アライアンスの推進
5. **FUNAI** ブランド展開
6. 成長戦略の推進

	前上期実績	当上期計画	当上期実績
売上高	890億円 →	960億円 →	1,205億円
営業利益	△14億円 (△1.6%) →	0億円 (0.0%) →	5億円 (0.5%)
期中平均レート (対USドル)	78.96円	96.00円	98.64円

総括

売上高・営業利益とも前期実績・計画を上回る

ディスプレイ事業



売上・利益とも計画を上回る (TV黒字化)
テレビの大型化が増収に寄与

デジタルメディア事業



売上は計画を上回る
工場再編に伴う費用の計上により損益は赤字
(ただし2Qは大幅に改善)

オフィスソリューション事業



売上は計画を上回る
自社開発プリンター関連の投資負担により
損益は赤字

景気動向

- 米国 … 住宅ローン金利上昇により住宅販売件数は弱含みに転じているものの、住宅市場・個人消費は堅調。景気は緩やかな回復基調が持続
- 欧州 … 債務危機再燃への懸念が弱まる中、企業景況感・個人消費は徐々に持ち直し。ただし内需低迷を背景とする低成長が長期化
- 日本 … 高支持率に支えられた安倍内閣への政策期待から先行きに明るさ
- 中国・インド・ブラジル … 米国金利上昇に伴い各国で通貨安が進行。経済成長の鈍化傾向が顕在化

業界動向

- TVのコモディティ(日用品)化と米国・中国では画面大型化が進行
- スマホ、タブレットの急成長、及びWi-Fi機能(無線)によるAV(TV・BD・音響)・車載機器との融合加速
- 日本では、アナログ停波後にTV、BDレコーダの大幅な落ち込みが見られたが、足元では市場回復の兆し

4

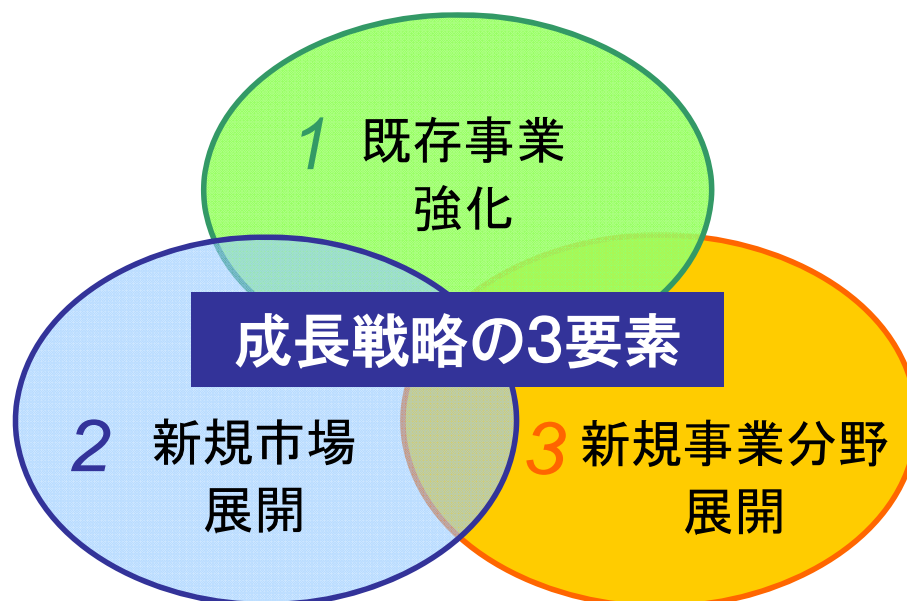
3. 下期および通期の計画

	修正計画		
	上期実績	下期計画	通期計画
売上高	1,205億円	1,085億円	2,290億円
営業利益	5億円 (0.5%)	0億円 (0.0%)	5億円 (0.2%)
期中平均レート (対USDドル)	98.64円	96.00円	97.32円

期初計画比

	< 期初計画 >	< 修正計画 >	
売上高 :	2,020億円	→ 2,290億円	+270億円(+13.4%)増
営業利益 :	2億円	→ 5億円	+3億円(+150.0%)増

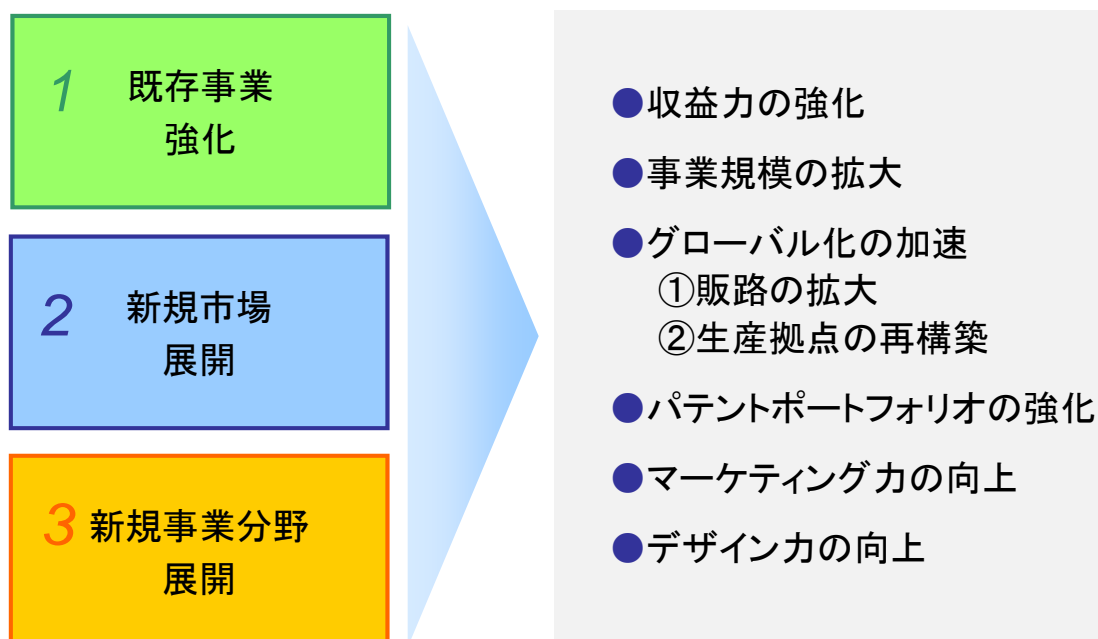
5



1. 既存事業の競争力の強化 & 利益率の向上
2. M&Aによる新規事業の展開
3. R&D開発製品の早期事業化

4-1. 成長戦略①

成長戦略とのシナジー効果を発揮



事業環境の変化に対応し、生産拠点を再編

集約化	中国		<ul style="list-style-type: none"> ● 2工場(黄江・中山)に集約化 (2013年4月～)
拡大・増強	タイ		<ul style="list-style-type: none"> ● 第3工場を増設 生産能力を拡大 (2013年7月～)
	フィリピン		<ul style="list-style-type: none"> ● セブ工場を取得 インクカートリッジの生産に着手 (2013年5月～) ● 新工場の設立を計画 (2014年5月予定)



- 16年に及ぶ強固なパートナーシップ
- 累計1.3億台を超える供給実績 (モデル数80以上)
- 当社の強みを活かせるメカトロニクス製品

LEXMARKのインクジェット事業を取得

インクジェット
関連特許

- 全世界で1,000件以上の関連特許を取得

開発リソース

- IJP関連製品の開発/R&D機能を取得
〈レキシントンR&Dセンターの設立〉 (約30名)

製造工場

- インクカートリッジ及びプリントヘッドの
製造工場を取得。5月稼働開始 (従業員数 約750名)



Circuit Assembly
建築面積: 11,178㎡, Class 1,000

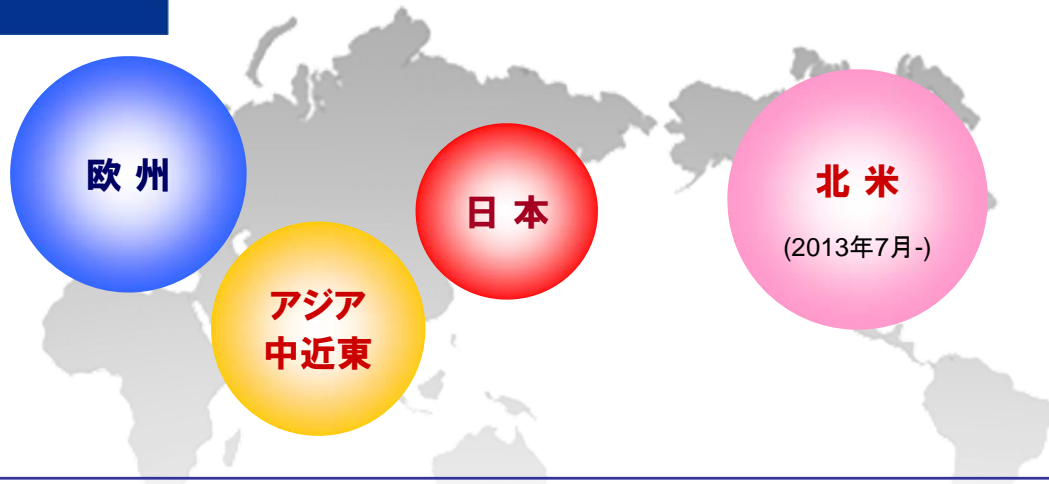


Bottle Assembly
建築面積: 13,941㎡, Class 10,000

収益性の高い
インクカートリッジを
含め、自社リソース
で完結できる体制を
構築

FUNAI

北米及び国内市場に **FUNAI** ブランド製品を投入し、グローバル展開を推進

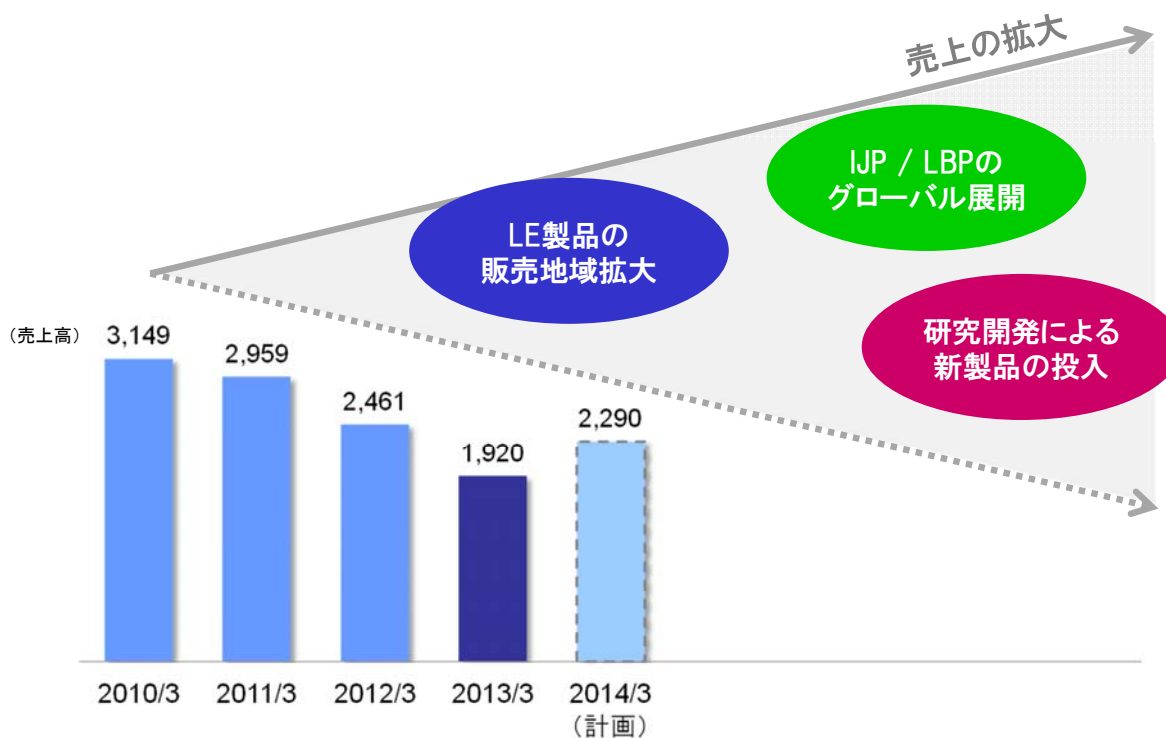


- Walmartにて本年7月よりDVDの販売開始
- 今後、BD、TVの販売も順次スタート



- DVD Player
- DVD Recorder
- BD Player
- LCD TV

成長戦略とのシナジー効果で業績は順調な回復基調へ



Ⅱ. 決算概要(連結)

1. 第2四半期(13年7月-9月)決算概要
2. 第2四半期累計(13年4月-9月)決算概要
3. 機器別売上高
4. DVD関連機器の売上高
5. テレビ関連機器の売上高
6. 仕向地別売上高
7. 営業利益増減要因
8. 財務の状況
9. 棚卸資産
10. 設備投資額・減価償却費・研究開発費
11. 当期業績予想の修正
12. 機器別売上高予想
13. 仕向地別売上高予想

1. 第2四半期(13年7月-9月)決算概要

(単位:億円)

	前期実績	当期実績	前年同期比 ()は増減率
売上高	490	700	+210 (+42.9%)
営業利益 (営業利益率)	△5 (△1.0%)	22 (3.3%)	+27 △2 (※1) +3 (※3)
経常利益 (経常利益率)	△10 (△2.0%)	20 (2.9%)	+30 △14 (※2) △13 (※4)
四半期純利益 (四半期純利益率)	△11 (△2.3%)	6 (0.9%)	+17
期中平均レート (対米国ドル)	78. ¹² 円	98. ⁰⁶ 円	

(※1) その他△2

(※3) 受取利息減△1、為替差損益+5、その他△1

(※2) 特別損失△11、法人税等他△3

(※4) 特別損失増△10、法人税等他増△3

月末レート (対米国ドル)	12年6月	12年9月	13年6月	13年9月
	79. ³¹ 円	77. ⁶⁰ 円	98. ⁵⁹ 円	97. ⁷⁵ 円

2. 第2四半期累計(13年4月-9月)決算概要

(単位:億円)

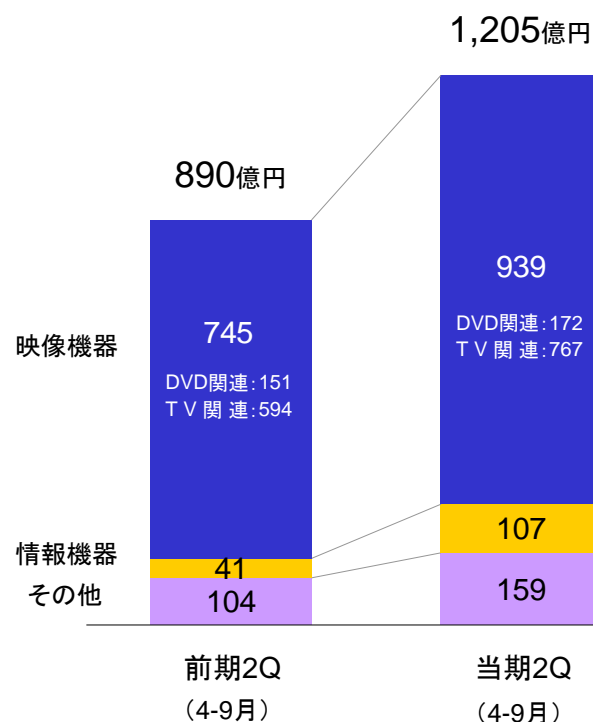
	前期実績	当期計画	当期実績	前年同期比 ()は増減率	計画比 ()は達成率	
売上高	890	960	1,205	+315 (+35.4%)	+245 (125.5%)	
営業利益 (営業利益率)	△14 (△1.6%)	0 (0.0%)	5 (0.5%)	+19 +16(※1)	+5 +32(※3)	+13(※5)
経常利益 (経常利益率)	△30 (△3.4%)	3 (0.3%)	21 (1.8%)	+51 △15(※2)	+18 △16(※4)	+12(※6)
四半期純利益 (四半期純利益率)	△29 (△3.4%)	0 (0.0%)	6 (0.5%)	+35	+6	

期中平均レート (対米国ドル)	78. ⁹⁶ 円	96. ⁰⁰ 円	98. ⁶⁴ 円
--------------------	---------------------	---------------------	---------------------

(※1) 受取利息+1、支払利息△1、為替差益+19、その他△3
 (※2) 特別損失△12、法人税等他△3
 (※3) 為替差損益+36、その他△4
 (※4) 特別損失増△10、法人税等他増△6
 (※5) 受取利息+1、為替差益増+15、その他△3
 (※6) 特別損失増△12

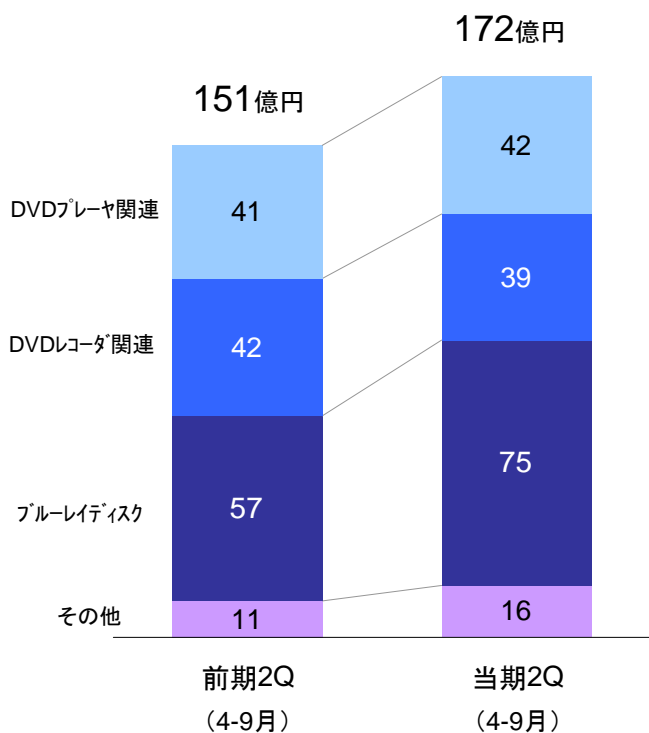
月末レート (対米国ドル)	12年3月	12年9月	13年3月	13年9月
	82. ¹⁹ 円	77. ⁶⁰ 円	94. ⁰⁵ 円	97. ⁷⁵ 円

3. 機器別売上高



前年同期比	
映像機器	: +194億円 (+26.0%)
DVD関連	: + 21億円 (+13.9%)
TV関連	: + 173億円 (+29.1%)
情報機器	: + 66億円 (+163.7%)
その他	: + 55億円 (+52.6%)
合計	: +315億円 (+35.4%)

4. DVD関連機器の売上高



ブルーレイディスク

・レコーダは横ばいだったものの、北米向けプレーヤが伸長

前年同期比

DVDプレーヤ関連 : + 1億円 (+ 2.4%)

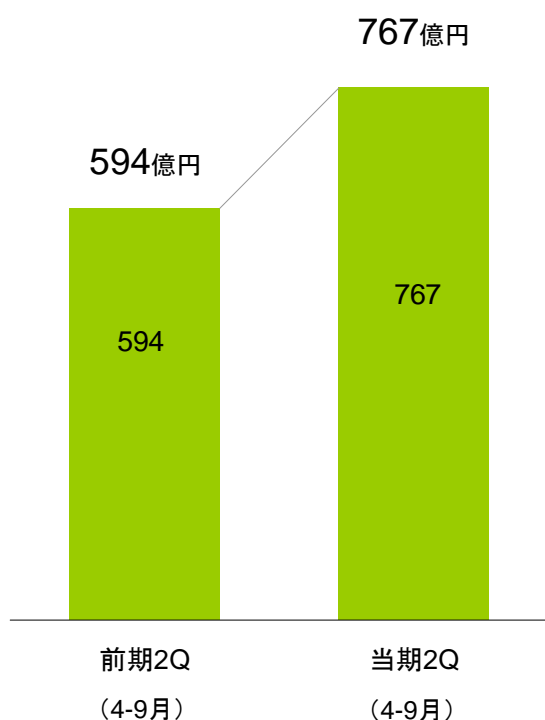
DVDレコーダ関連 : Δ 3億円 (Δ 7.1%)

ブルーレイディスク : + 18億円 (+31.6%)

その他 : + 5億円 (+45.5%)

合計 : + 21億円 (+13.9%)

5. テレビ関連機器の売上高



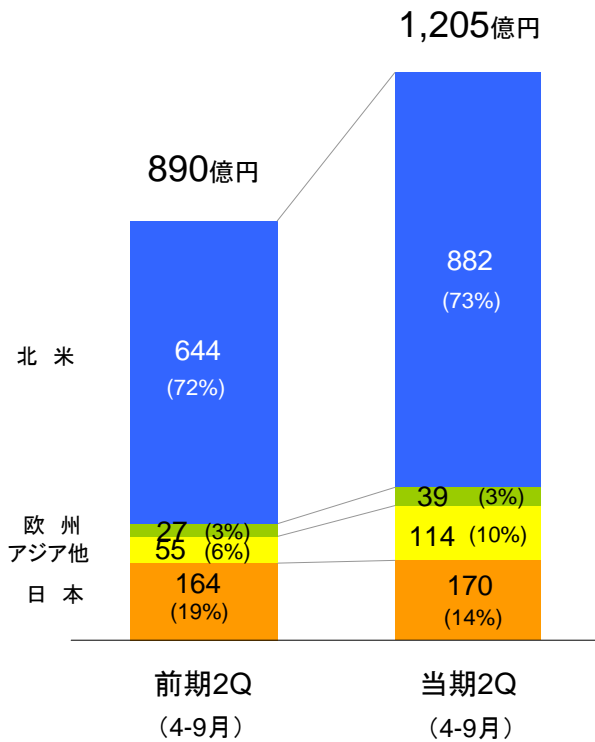
液晶テレビ

・米国及びメキシコ向け売上が堅調に推移

前年同期比

液晶テレビ : +173億円 (+29.1%)

6. 仕向地別売上高



北米

・液晶テレビの伸長に加え、オーディオアクセサリ、DVD関連製品、情報機器がそれぞれ増加

アジア他

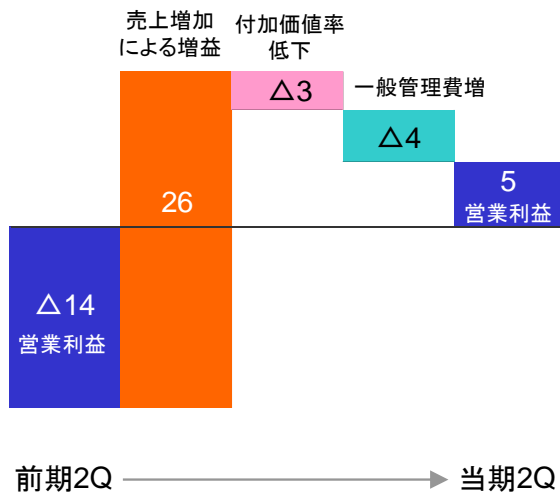
・メキシコ向け液晶テレビが伸長

前年同期比

北米	: +238億円 (+36.8%)
欧州	: +12億円 (+44.4%)
アジア他	: +59億円 (+107.3%)
日本	: +6億円 (+3.7%)
合計	: +315億円 (+35.4%)

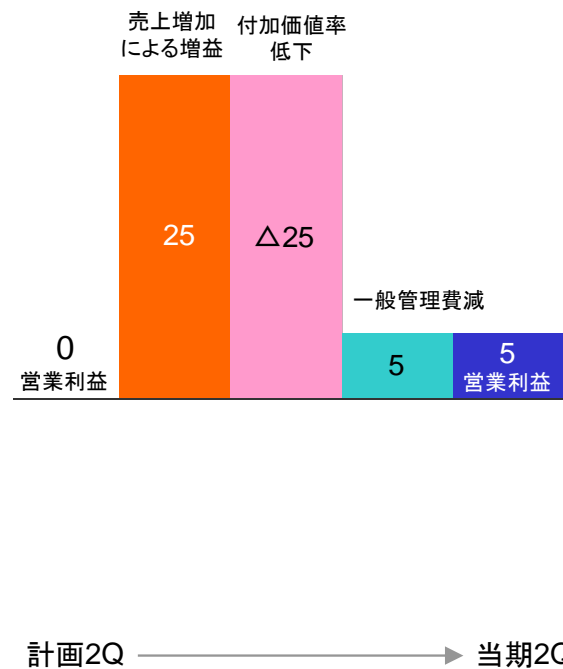
7. 営業利益増減要因

《前年同期比》

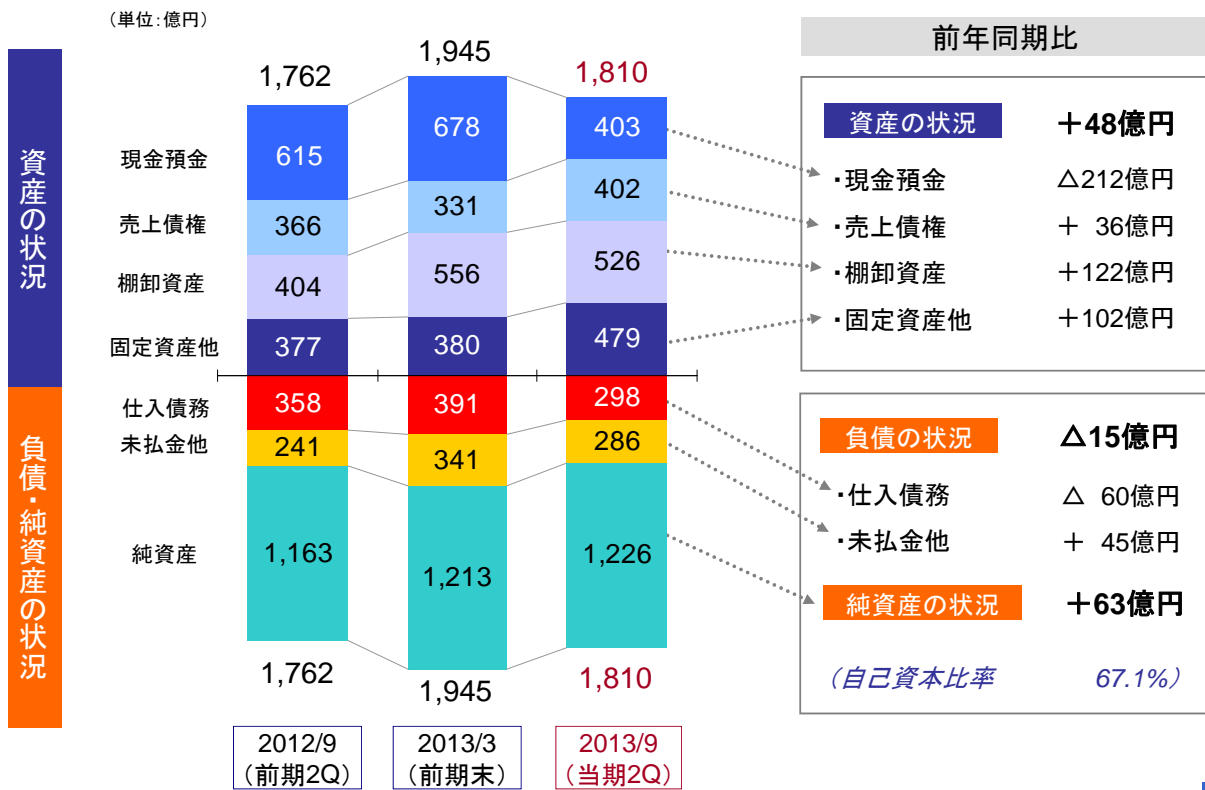


《計画比》

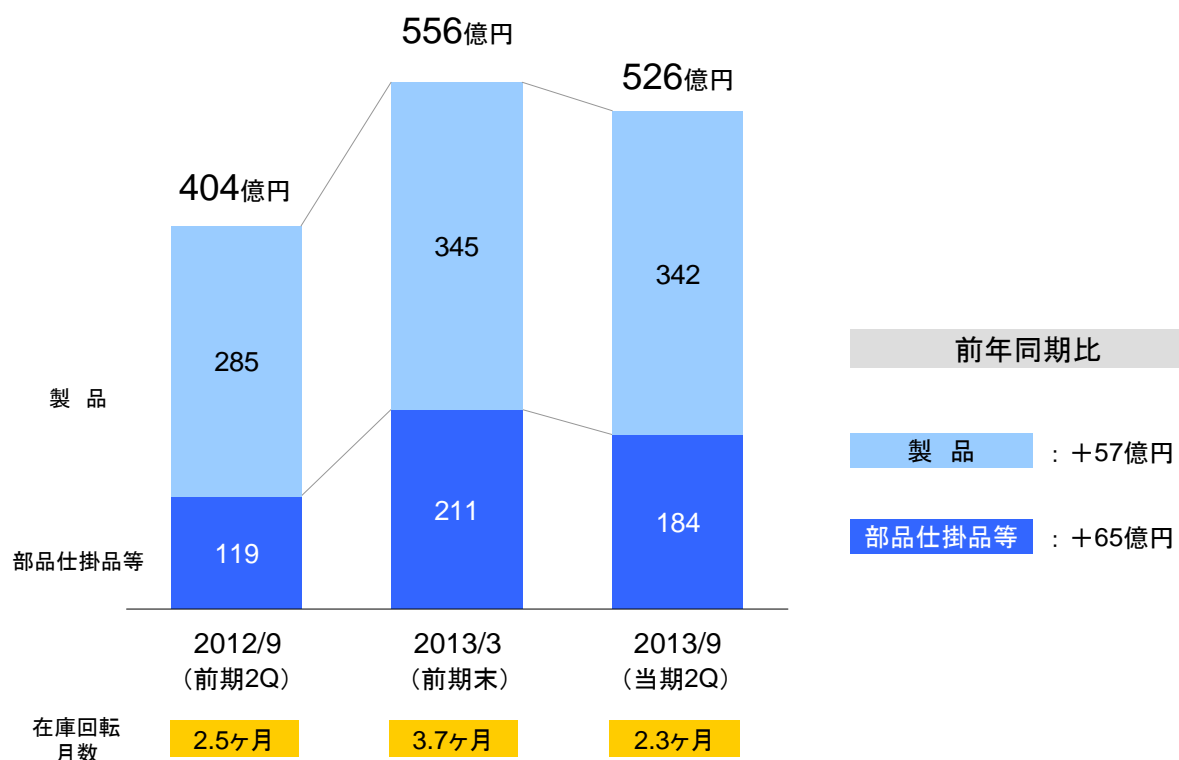
* 付加価値 = 売上 - (売上原価 + 販売費)



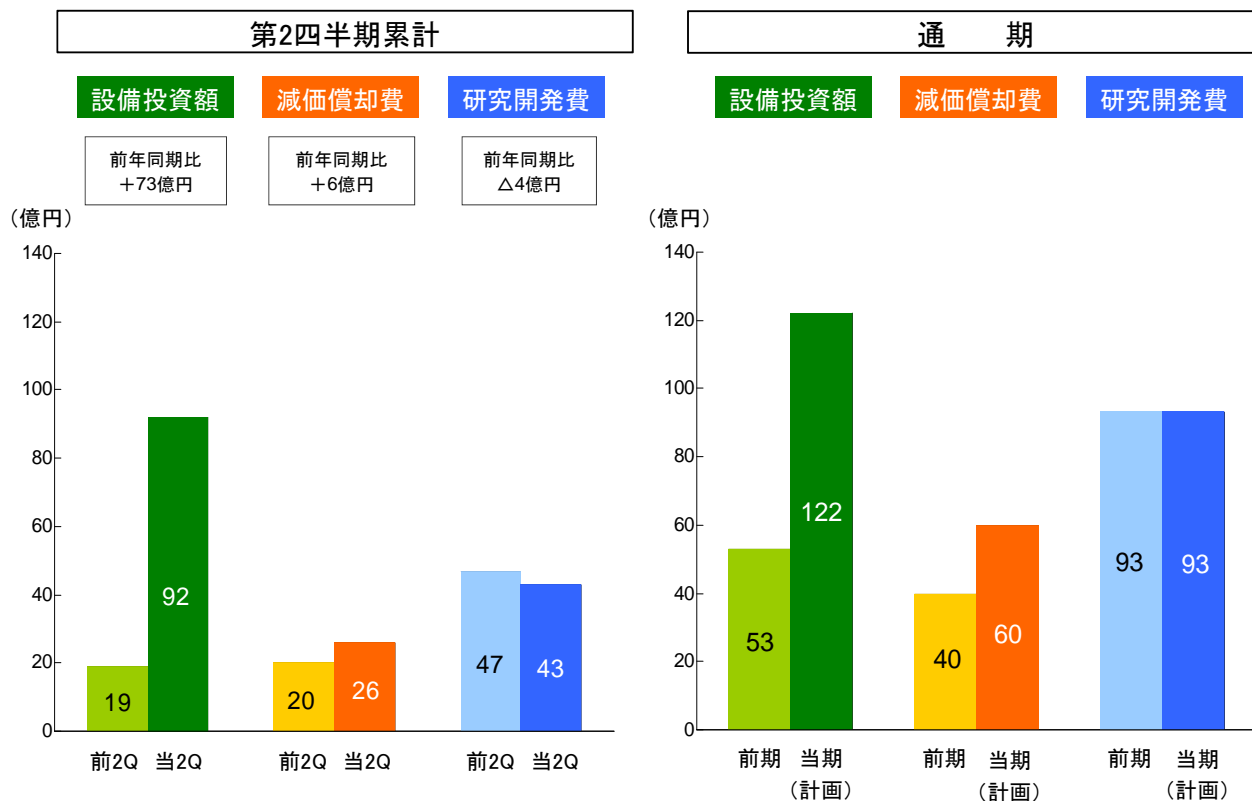
8. 財務の状況



9. 棚卸資産



10. 設備投資額・減価償却費・研究開発費



11. 当期業績予想の修正

(単位: 億円)

	前期実績	前回予想 (5月7日発表)	今回予想 (11月11日発表)	前期比 ()は増減率	前回予想比 ()は増減率
売上高	1,920	2,020	2,290	+370 (+19.3%)	+270 (+13.4%)
営業利益 (営業利益率)	△52 (△2.7%)	2 (0.1%)	5 (0.2%)	+57 +16(※1)	+3 △33(※3)
経常利益 (経常利益率)	△3 (△0.2%)	5 (0.2%)	21 (0.9%)	+24 △20(※2)	+16 +62(※4)
当期純利益 (当期純利益率)	△85 (△4.4%)	1 (0.0%)	1 (0.0%)	+86	0
期中平均レート (対米ドル)	83.32円	96.00円	97.32円		

(※1) 受取利息+2、支払利息△2、
為替差益+19、その他△3

(※3) 受取利息減△1、支払利息増△1、
為替差益減△28、その他△3

(※5) 受取利息増+1、為替差益増+15、
その他△3

(※2) 特別損失△12、法人税等他△8

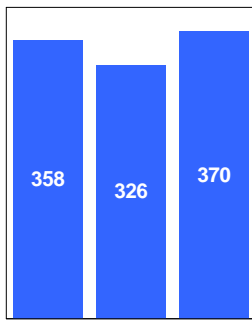
(※4) 特別利益減△4、特別損失減+14、
法人税等他減+52

(※6) 特別損失増△12、法人税等他増△4

12. 機器別売上高予想

(単位:億円)

DVD関連機器

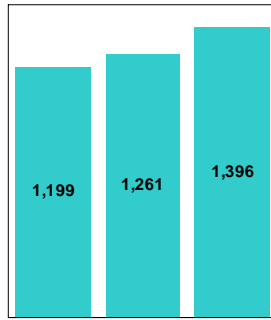


【前回予想比】
+13.5%

【増収要因】
・DVDプレーヤ、レコーダ
・ブルーレイディスクプレーヤ

2013.3 2014.3 2014.3
(前回予想) (今回予想)

テレビ関連機器

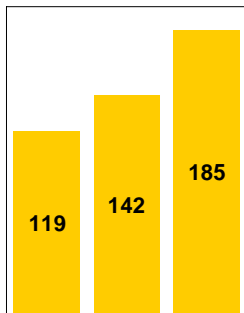


【前回予想比】
+10.7%

【増収要因】
・北米、メキシコの伸長

2013.3 2014.3 2014.3
(前回予想) (今回予想)

情報機器

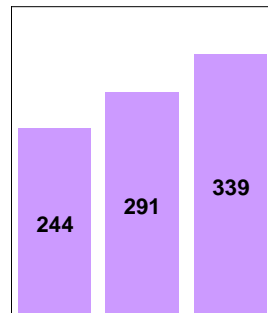


【前回予想比】
+30.3%

【増収要因】
・インクカートリッジ

2013.3 2014.3 2014.3
(前回予想) (今回予想)

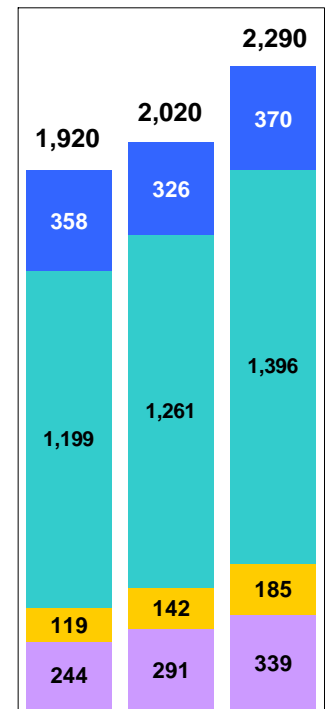
その他



【前回予想比】
+16.5%

【増収要因】
・受信関連用電子機器
・オーディオアクセサリ製品

2013.3 2014.3 2014.3
(前回予想) (今回予想)

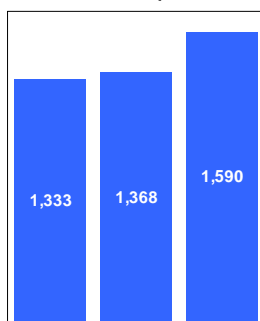


2013.3 2014.3 2014.3
(前回予想) (今回予想)

13. 仕向地別売上高予想

(単位:億円)

北米

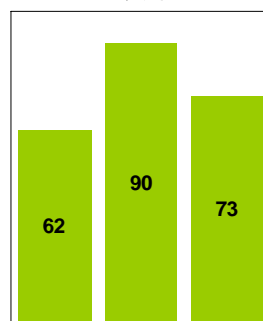


【前回予想比】
+16.2%

【増収要因】
・液晶テレビ
・インクカートリッジ

2013.3 2014.3 2014.3
(前回予想) (今回予想)

欧州

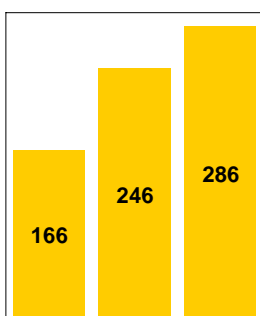


【前回予想比】
△18.9%

【減収要因】
・液晶テレビ

2013.3 2014.3 2014.3
(前回予想) (今回予想)

アジア他

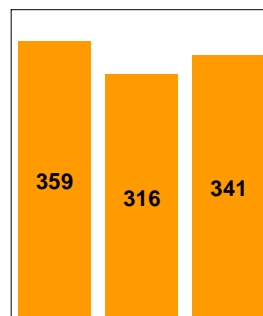


【前回予想比】
+16.3%

【増収要因】
・メキシコ向け液晶テレビ

2013.3 2014.3 2014.3
(前回予想) (今回予想)

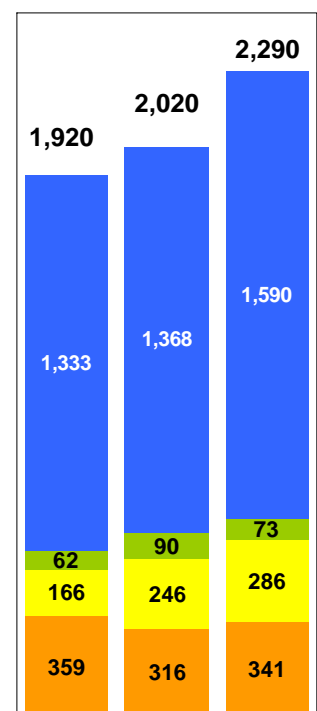
日本



【前回予想比】
+7.9%

【増収要因】
・受信関連用電子機器

2013.3 2014.3 2014.3
(前回予想) (今回予想)

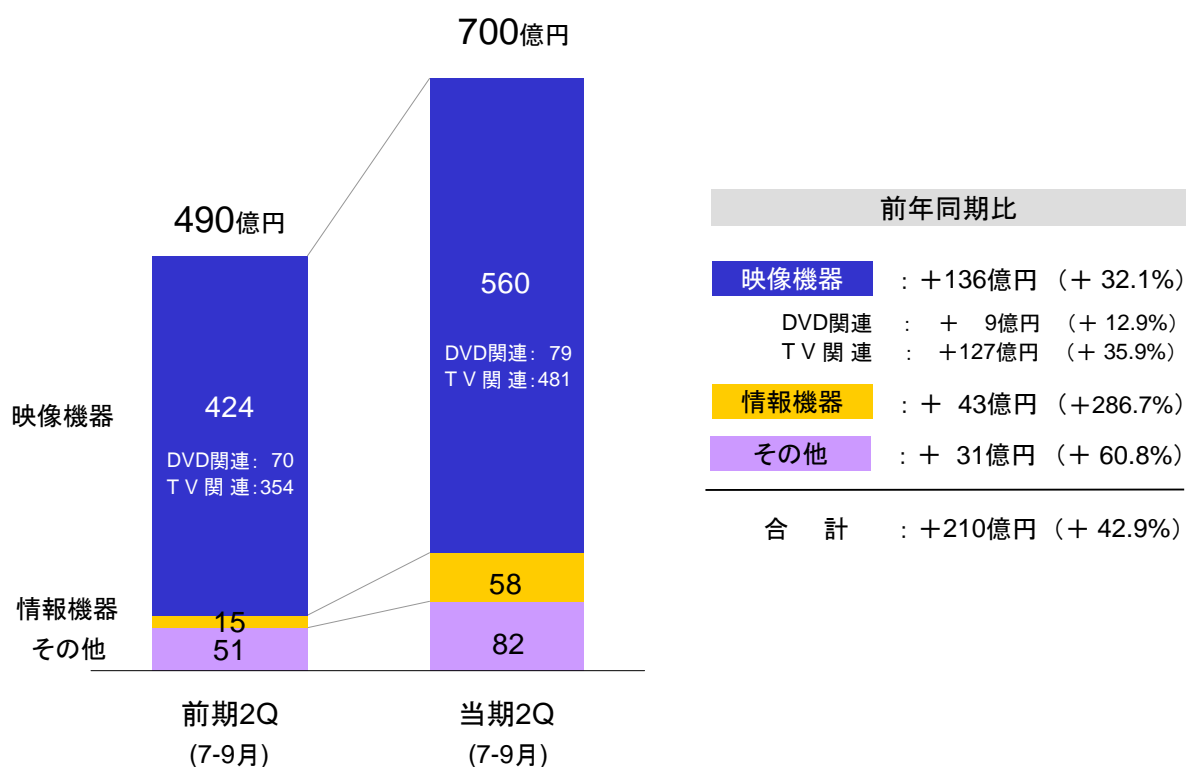


2013.3 2014.3 2014.3
(前回予想) (今回予想)

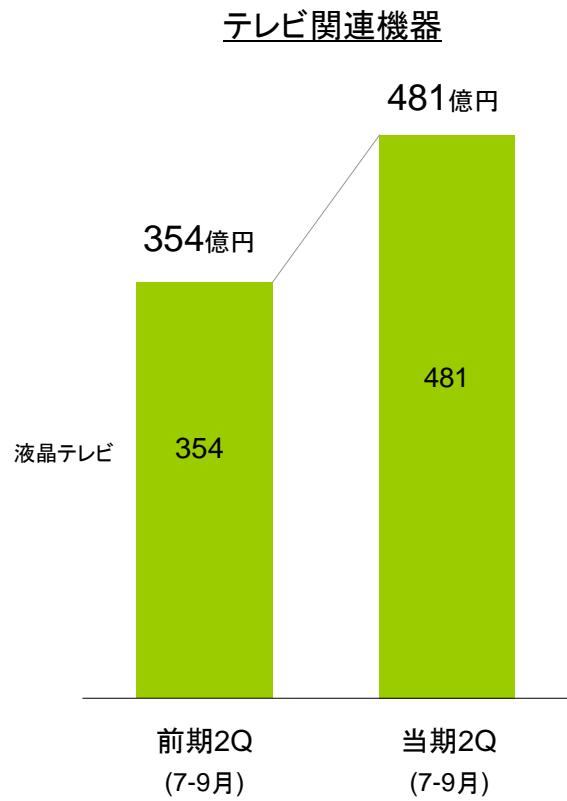
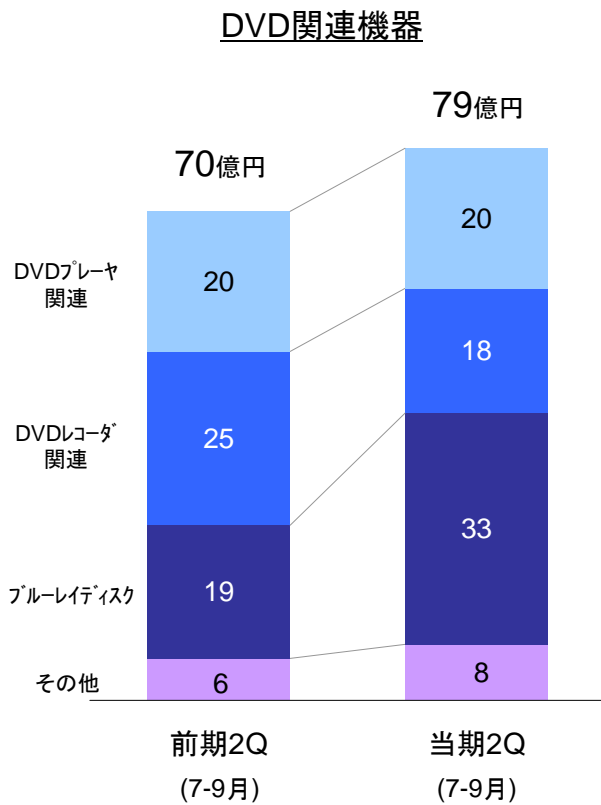
Ⅲ. 補足資料① (第2四半期(7-9月)決算概要)

1. 機器別売上高
2. 映像機器の売上高
3. 仕向地別売上高

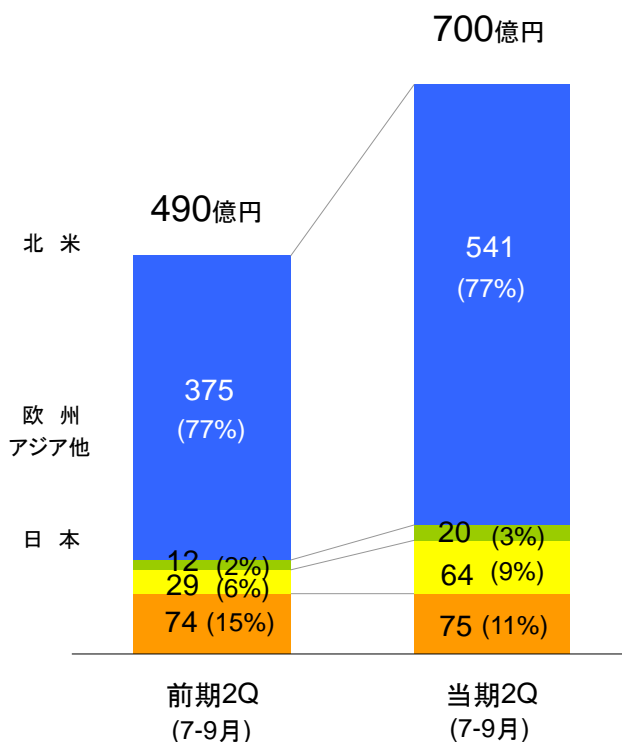
1. 機器別売上高



2. 映像機器の売上高



3. 仕向地別売上高



前年同期比	
北米	: +166億円 (+44.3%)
欧州	: + 8億円 (+66.7%)
アジア他	: + 35億円 (+120.7%)
日本	: + 1億円 (+ 1.4%)
合計	: +210億円 (+42.9%)

IV. 補足資料②

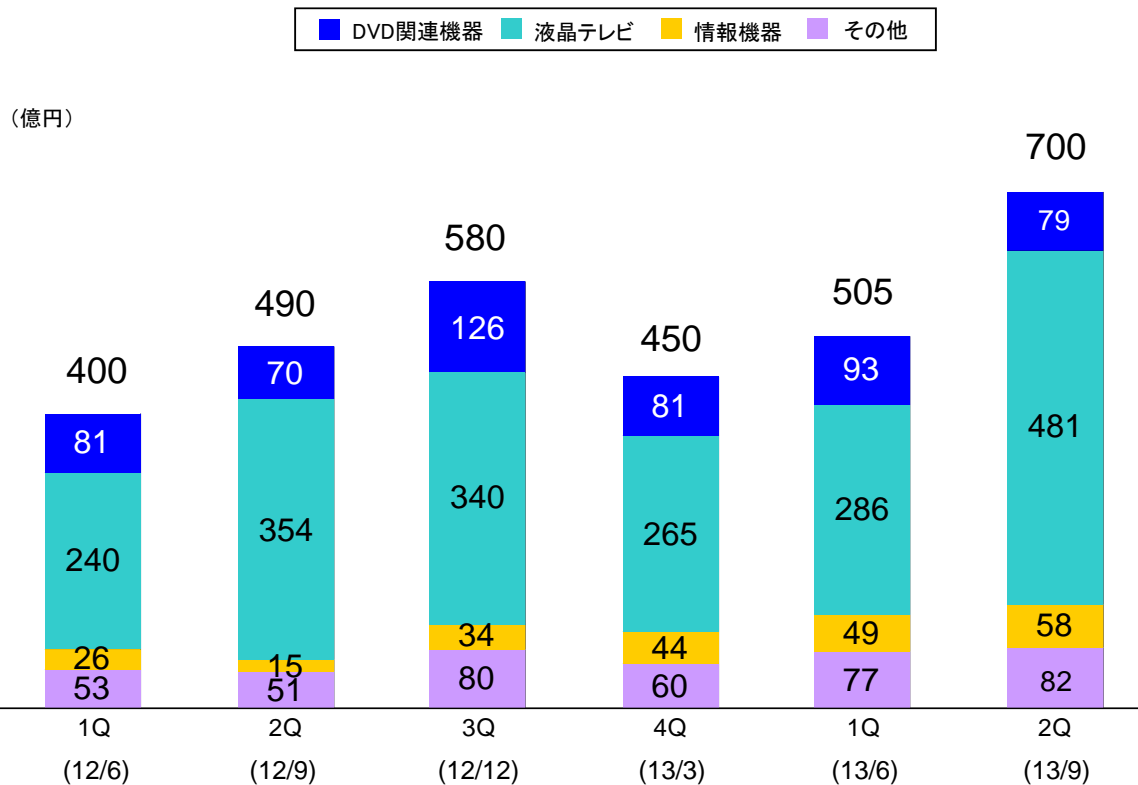
1. 四半期別決算概要
2. 機器別売上高の推移(四半期)
3. 仕向地別売上高の推移(四半期)

1. 四半期別決算概要

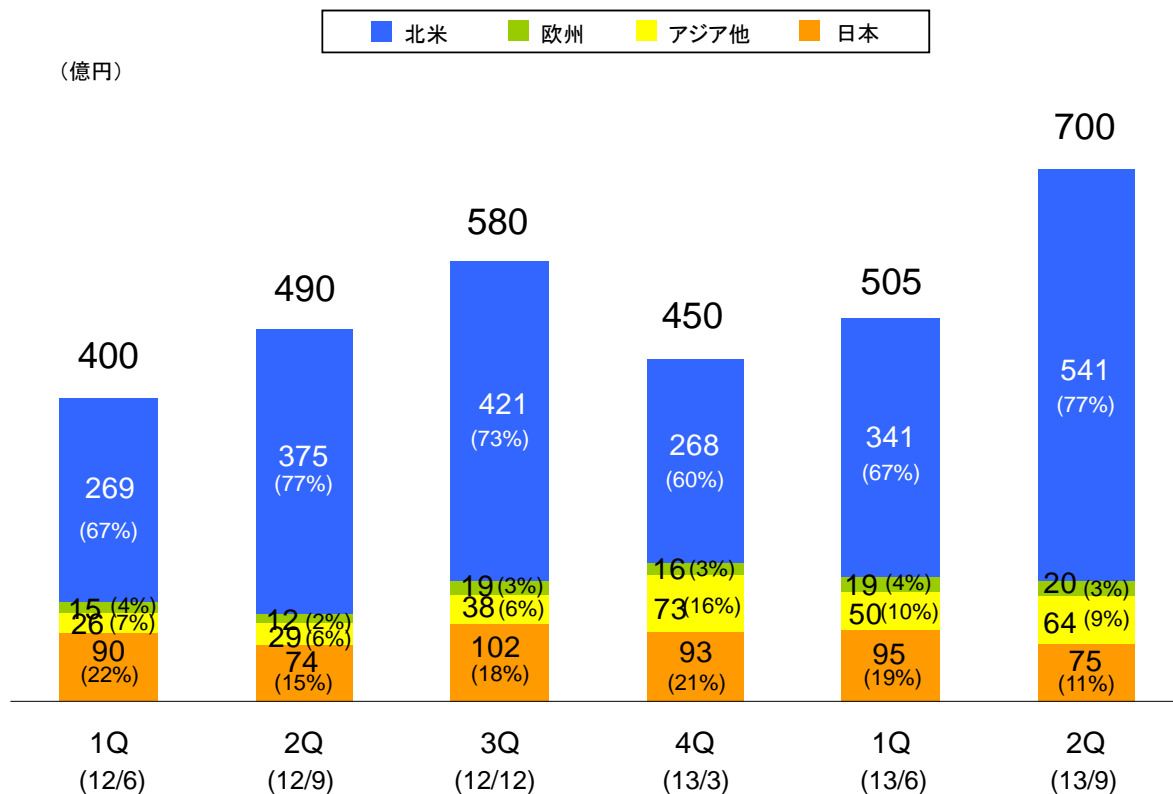
(単位:億円)

	61期				62期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	400	490	580	450	505	700
営業利益	△9	△5	△3	△34	△17	22
(営業利益率)	(△2.4%)	(△1.0%)	(△0.7%)	(△7.6%)	(△3.4%)	(3.3%)
経常利益	△20	△10	32	△4	1	20
(経常利益率)	(△5.1%)	(△2.0%)	(5.5%)	(△1.1%)	(0.2%)	(2.9%)
四半期純利益	△18	△11	6	△62	△0	6
(四半期純利益率)	(△4.6%)	(△2.3%)	(1.2%)	(△13.9%)	(△0.0%)	(0.9%)

2. 機器別売上高の推移(四半期)



3. 仕向地別売上高の推移(四半期)



本資料には、歴史的事実ではない将来の業績に関する予想及び見通しについての記載が含まれています。

これらの記載は、映像機器及び情報機器をはじめとする当社及び当社グループ会社の事業に関連する業界動向、国内外の経済状況並びに為替レートの変動その他の業績に影響を与える可能性のある要因について、現時点で把握可能な情報をもとにした仮定及び見通しを前提としています。

したがって、実際の業績は、エレクトロニクス業界における競争状況、市場動向、為替動向、新製品の導入及びその成否、税制や諸制度に関する世界的な状況を含む多くの不確実な要因の影響を受け、本記載の予想及び見通しとは大きく異なる場合がありますのでご承知おきください。

